

平成29年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成29年6月6日

上場会社名 アートグリーン株式会社 上場取引所 名
 コード番号 3419 URL <http://www.artgreen.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 田中 豊
 問合せ先責任者（役職名） 取締役管理部長（氏名） 芝田 新一郎（TEL）03-6823-5926
 四半期報告書提出予定日 平成29年6月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成29年10月期第2四半期の業績（平成28年11月1日～平成29年4月30日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年10月期第2四半期	864	△0.6	21	△24.4	21	27.8	15	60.5
28年10月期第2四半期	869	—	28	—	17	—	9	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
29年10月期第2四半期	13.73		13.14					
28年10月期第2四半期	9.08		8.73					

（注）1. 平成27年10月期第2四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成28年10月期第2四半期の前年同四半期増減率を記載しておりません。

2. 当社株式は、平成27年12月18日に名古屋証券取引所セントレックス市場に上場しております。平成28年10月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の計算においては、新規上場日から平成28年10月期第2四半期累計期間の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年10月期第2四半期	715	390	54.5
28年10月期	703	374	53.2

（参考）自己資本 29年10月期第2四半期 390百万円 28年10月期 374百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年10月期	—	0.00	—	—	—
29年10月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年10月期の業績予想（平成28年11月1日～平成29年10月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,779	3.7	40	△26.9	38	△24.5	26	△29.7	23.92

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年10月期2Q	1,120,800株	28年10月期	1,120,400株
② 期末自己株式数	29年10月期2Q	65株	28年10月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年10月期2Q	1,120,464株	28年10月期2Q	1,055,953株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります、将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

なお、業績予想に関する事項は、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、政府の経済政策や日本銀行の金融緩和策により、緩やかな回復基調が続きました。また、政府の経済対策に伴う国内需要の増加等により、今後も回復傾向は持続するものと思われまますが、新興国経済の減速感や、米国経済の動向と国際市場に及ぼす影響等、不安定な海外要因等により依然として先行き不透明な状況が続いております。

花き業界においては、東京都中央卸売市場の市場統計情報によると、平成29年2月から平成29年4月までの、らん鉢取扱金額は1,203百万円（前年同期比10.2%減）、数量は394千鉢（前年同期比7.3%減）と、いずれも前年同期比減という傾向で推移しております。

このような事業環境の中、フラワービジネス支援事業は、ブライダルの組数減少による婚礼生花の受注の減少があったものの、主力の法人贈答用胡蝶蘭は新規顧客開拓及び既存顧客への深耕営業により、売上高は堅調に推移いたしました。ナーセリー支援事業は国内提携農園で生産された胡蝶蘭の生産品質の向上により、自社製品としての活用割合を増加させました。フューネラル事業は、核家族化や葬祭規模の縮小等により、葬儀1件あたりの生花使用量が減少傾向にある中、注文件数は横ばいで推移しております。販売費及び一般管理費については、人員の増強による人件費の増加や、平成29年1月に開設いたしました横浜営業所の開設費用の発生等により、増加いたしました。一方、前期に計上した株式公開費用が当期は発生しなかったこと等により、営業外費用は減少いたしました。

この結果、当第2四半期累計期間における売上高は864,831千円（前年同期比0.6%減）、営業利益21,359千円（前年同期比24.4%減）、経常利益21,737千円（前年同期比27.8%増）、四半期純利益15,392千円（前年同期比60.5%増）となりました。

なお、当社の事業セグメントは単一セグメントであるため、セグメント情報は記載せず、主要な事業について記載しております。

(フラワービジネス支援事業)

フラワービジネス支援事業につきましては、贈答用の胡蝶蘭をグループ企業へ販売するという異業種参入支援業務における新規顧客開拓の強化と、引き続き既存取引先各社へのオリジナルフラワーギフトカタログ作製の提案に注力いたしました。

社会全体では急速なネット通販の拡大により、宅配業界の厳しい状況から大手宅配業者の料金改定も進む中、当社の強みでもある自社配送のエリア拡大として、平成29年1月に横浜営業所を開設し、今後もお客様の利便性向上と対応の迅速化を図ることにより、更なるサービスの拡充等に取り組んでおります。

以上の結果、フラワービジネス支援事業の売上高は592,347千円（前年同期比5.9%増）となりました。

(ナーセリー支援事業)

ナーセリー支援事業につきましては、引き続き国内提携農園3社への胡蝶蘭生産指導に注力いたしました。この継続的な取り組みにより、高品質製品の生産割合が向上し、自社製品としての活用割合が増加したことで、市場への出荷量は減少いたしました。

以上の結果、ナーセリー支援事業の売上高は192,666千円（前年同期比14.6%減）となりました。

(フューネラル事業)

フューネラル事業につきましては、第1四半期から引き続き、既存取引先等からの紹介による新規顧客開拓の営業強化に注力いたしました。一方で、核家族化や葬祭規模の縮小等の影響から、葬儀業界全体としての葬儀単価が減少傾向にある影響で、葬儀用切花の市場相場は減少傾向にあり、当社においても葬儀用切花の平均単価は減少傾向が続いております。

以上の結果、フューネラル事業の売上高は79,817千円（前年同期比6.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期累計期間における流動資産合計は654,107千円となり、前事業年度末に比べ10,528千円増加しました。この主な要因は、現金及び預金が32,076千円減少したものの、受取手形及び売掛金が30,124千円、仕掛品

が8,424千円それぞれ増加したことによるものであります。

(固定資産)

当第2四半期累計期間における固定資産合計は61,416千円となり、前事業年度末に比べ1,700千円増加しました。この主な要因は、その他に含まれております敷金及び保証金が3,121千円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当第2四半期累計期間における流動負債合計は226,851千円となり、前事業年度末に比べ6,064千円増加しました。この主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が7,302千円減少した一方で、未払法人税等が4,961千円、賞与引当金が4,424千円、未払金が4,854千円それぞれ増加したことによるものであります。

(固定負債)

当第2四半期累計期間における固定負債合計は98,651千円となり、前事業年度末に比べ9,366千円減少しました。この主な要因は、長期借入金が9,437千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期累計期間における純資産合計は390,020千円となり、前事業年度末に比べ15,531千円増加しました。この主な要因は、四半期純利益15,392千円の計上によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年10月期の業績予想につきましては、平成28年12月8日に公表しました業績予想から修正は行っておりません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年10月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	350,234	318,158
受取手形及び売掛金	189,408	219,533
商品及び製品	17,973	19,200
仕掛品	70,190	78,615
原材料及び貯蔵品	195	381
その他	18,221	20,835
貸倒引当金	△2,644	△2,617
流動資産合計	643,579	654,107
固定資産		
有形固定資産	9,723	8,733
無形固定資産	3,031	2,647
投資その他の資産		
その他	54,774	58,106
貸倒引当金	△7,814	△8,071
投資その他の資産合計	46,960	50,035
固定資産合計	59,715	61,416
資産合計	703,294	715,523

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年10月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	61,833	58,893
1年内返済予定の長期借入金	94,317	87,015
未払法人税等	7,905	12,866
賞与引当金	11,586	16,011
その他	45,144	52,065
流動負債合計	220,787	226,851
固定負債		
長期借入金	107,932	98,495
その他	86	156
固定負債合計	108,018	98,651
負債合計	328,805	325,503
純資産の部		
株主資本		
資本金	139,140	139,170
資本剰余金	89,253	89,282
利益剰余金	145,489	160,881
自己株式	—	△67
株主資本合計	373,883	389,266
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	606	754
評価・換算差額等合計	606	754
純資産合計	374,489	390,020
負債純資産合計	703,294	715,523

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年4月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年4月30日)
売上高	869,673	864,831
売上原価	543,367	513,746
売上総利益	326,306	351,084
販売費及び一般管理費	298,037	329,724
営業利益	28,269	21,359
営業外収益		
受取利息	91	70
受取配当金	45	84
保険解約返戻金	1,349	—
受取助成金	—	555
その他	573	310
営業外収益合計	2,060	1,021
営業外費用		
支払利息	690	643
株式公開費用	11,771	—
その他	856	—
営業外費用合計	13,318	643
経常利益	17,011	21,737
特別利益		
資産除去債務戻入益	—	2,352
特別利益合計	—	2,352
税引前四半期純利益	17,011	24,089
法人税、住民税及び事業税	7,973	10,415
法人税等調整額	△549	△1,718
法人税等合計	7,423	8,697
四半期純利益	9,588	15,392

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年4月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	17,011	24,089
減価償却費	1,254	1,374
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,711	230
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,506	4,424
受取利息	△91	△70
受取配当金	△45	△84
支払利息	690	643
株式公開費用	11,771	—
資産除去債務戻入益	—	△2,352
売上債権の増減額(△は増加)	△1,920	△30,381
たな卸資産の増減額(△は増加)	△19,766	△9,838
仕入債務の増減額(△は減少)	△10,420	△2,940
前払費用の増減額(△は増加)	△1,173	△1,117
未払金の増減額(△は減少)	△14	4,854
未払費用の増減額(△は減少)	△1,835	2,723
その他	△1,030	△895
小計	△5,775	△9,342
利息及び配当金の受取額	227	140
利息の支払額	△552	△529
法人税等の支払額	△7,391	△5,218
営業活動によるキャッシュ・フロー	△13,491	△14,949
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△100,029	△100,470
定期預金の払戻による収入	97,422	97,943
有形固定資産の取得による支出	△1,100	—
無形固定資産の取得による支出	△350	—
敷金及び保証金の差入による支出	—	△460
保険積立金の積立による支出	△1,797	△10
保険積立金の解約による収入	1,349	591
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,504	△2,405
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	76,400	59
自己株式の取得による支出	—	△67
短期借入れによる収入	—	30,000
短期借入金の返済による支出	—	△30,000
長期借入れによる収入	70,000	30,000
長期借入金の返済による支出	△45,215	△46,739
財務活動によるキャッシュ・フロー	101,185	△16,747
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	83,189	△34,102
現金及び現金同等物の期首残高	52,059	222,408
現金及び現金同等物の四半期末残高	135,248	188,306

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期累計期間(自 平成27年11月1日 至 平成28年4月30日)

当社は、平成27年12月18日付で名古屋証券取引所セントレックス市場へ上場し、平成27年12月17日を払込期日として、一般募集(ブックビルディングにより募集)による新株式200,000株の発行を行いました。また、平成28年1月22日を払込期日として、エイチ・エス証券株式会社が行うオーバーアロットメントによる当社株式の売出しに関連して、同社を割当先とする第三者割当増資による新株式30,000株の発行を行いました。

その結果、資本金及び資本準備金がそれぞれ44,436千円増加し、当第2四半期会計期間末において資本金が139,111千円、資本準備金が44,436千円となっております。

当第2四半期累計期間(自 平成28年11月1日 至 平成29年4月30日)

該当事項はありません。